安全報告書

２０１５

伊勢鉄道株式会社

1 お客様はじめ地元の皆様へ

平素は伊勢鉄道をご利用頂くとともに、弊社の業務運営にご理解・ご支援を賜り、誠に有難う御座います。

２０１４年度は、高規格道路の開通等により、特急「南紀」のご利用が３年連続で減少するとともに、２０１３年の伊勢神宮式年遷宮の反動により、快速「みえ」のご利用も減少するなど経営環境は厳しい状況でありました。そのような状況下にはありましたが、当社線内では、台風及び集中豪雨に伴う輸送障害により、ご利用のお客様に一時的にご迷惑をお掛け致しましたものの、安全目標に掲げる運転事故及びインシデントの発生は無く、概ね安定した輸送を提供することができました。これは、当社の基本方針を社員一人ひとりが自覚し、一丸となって取り組んだ結果として達成できたものと考えております。

今後とも、「伊勢鉄道が安全で安心できる鉄道」として、より多くのお客様にご利用頂けますよう、全社員が一丸となって事故防止に努めて参ります。

本報告書は、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解頂くために２００７年度から公表しているものです。

皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

伊勢鉄道株式会社
代表取締役会長　服部　桂吾

2 基本方針と安全目標

(1)基本方針

安全輸送の確保は経営の根幹であり、「安全基本方針」を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しております。

①社員一丸となって、お客様の安全の確保を最優先に取り組む。
②輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正なる業務執行に徹する。
③確認の励行に徹し、疑わしい時は最も安全と思われる取扱を行う。
④事故・災害等が発生した時は、列車防護、人命救助を最優先に行動し、情報連絡を確実に行う。
⑤常に問題意識をもち、必要な変革を行う。

(2)安全目標

当社は「安全基本方針」を受けた以下の「輸送安全目標」を定め、日々輸送の安全確保に取り組んでいます。

輸　送　安　全　目　標

１．列車事故（衝突,脱線,火災）及びインシデントを発生させない。
２．踏切障害事故を発生させない。
３．人身障害事故を発生させない。

その結果、２０１４年度は「重大事故・インシデント」の発生はありませんでした。２０１５年度以降も以下の安全重点実施計画に取組む中で、安全を大事にする社風を確固たる物とすべく、教育・訓練の充実等、全社員の安全意識の更なる向上に努めていきます。

（2015年度以降の安全重点実施計画）

項　　目	内　　容
列車の運転に関係する事故防止	・法令遵守及び基本動作の確実な励行 ・社内規程やマニュアル類の継続的な整備と遵守 ・安全関連設備の継続的な整備
教育・訓練の充実	・鉄道従事員に相応しい人材の育成 ・知識や技能を円滑に継承するための勉強会や訓練会の実施 ・事故情報や過去事例の活用
異常時への適切な対応	・規程や異常時マニュアルに沿った運転規制と運転再開時の取扱の厳正 ・異常時取扱い習熟度向上のための訓練会実施 ・異常時体制の継続的な整備と情報の共有化

3　事故等の発生状況と再発防止措置〈2014年度〉

（1）鉄道運転事故（「鉄道事故等報告規則」に規定する事故）

鉄道運転事故の発生はありませんでした。
今後とも引き続き発生防止に全力で取り組んでまいります。

（2）輸送障害（30分以上の遅延や運休）

・平成26年　8月　9日～10日　　台風11号の影響により運転休止
・平成26年　8月23日　　大雨の影響により59分遅延発生
・平成26年10月　6日　　台風18号の影響により運転休止
・平成26年10月13日　　台風19号の影響により運転休止

（3）インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態）

インシデントの発生はありませんでした。

（4）行政指導等

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4　輸送の安全確保のための取組み

（1）重点安全施策（安全関連投資）

２０１４年度は、マクラギ更換（590 本）・レール更換（東一身田～津間 957m）、橋梁コンクリート剥離更新工事、軌道回路装着電設備及び無線基地局の更新工事、更には緊急地震対策事業の中で緊急輸送道路と交差する架道橋の落橋防止工新設工事などの安全設備関連工事のほか車両の重要部検査（イセ 101 号：イセⅢ型 1 両）等、合計で約 95 百万円を投入し、安全・安定輸送設備の整備・改良工事は計画通り完了しています。

マクラギ更換工事

レール更換工事

コンクリート剥離更新

無線基地局更新

落橋防止工新設

重要部検査（イセ 101 号）

２０１５年度につきましては、レール更換（763m）、のり面改良（184m：1290 ㎡）、継電連動装置更新（河芸駅）、ＡＴＳ－ＳＴ新設（玉垣駅逆線出発用）工事、ホーム高らん改良（鈴鹿駅上りホーム）、こ線橋改良（玉垣駅、中瀬古駅、河芸駅）等の安全設備関連工事、車両の重要部検査等の保全関連工事を計画しており、今後とも安全の維持・向上に向けて各種設備の整備・改良に積極的且つ着実に取り組んで参ります。

(2)人材教育

当社では、安全目標を確実に達成するための「重点実施計画」を定め、それをもとに駅（運転指令業務）、機関区（運転士）、工務区等の関係部署がそれぞれに詳細な年間計画を策定し、毎月（乗務員・工務関係社員）及び四半期（駅関係社員）毎に訓練会・勉強会を開催して知識・技能の向上を図っています。

定期訓練会

添乗指導

また、国土交通省や中部鉄道協会及び(社)日本鉄道運転協会・日本鉄道施設協会等の主催で開催される、安全管理や専門的な知識・技能の向上を目指す研修会等にも積極的に参加し、社員のスキル向上に努めています。

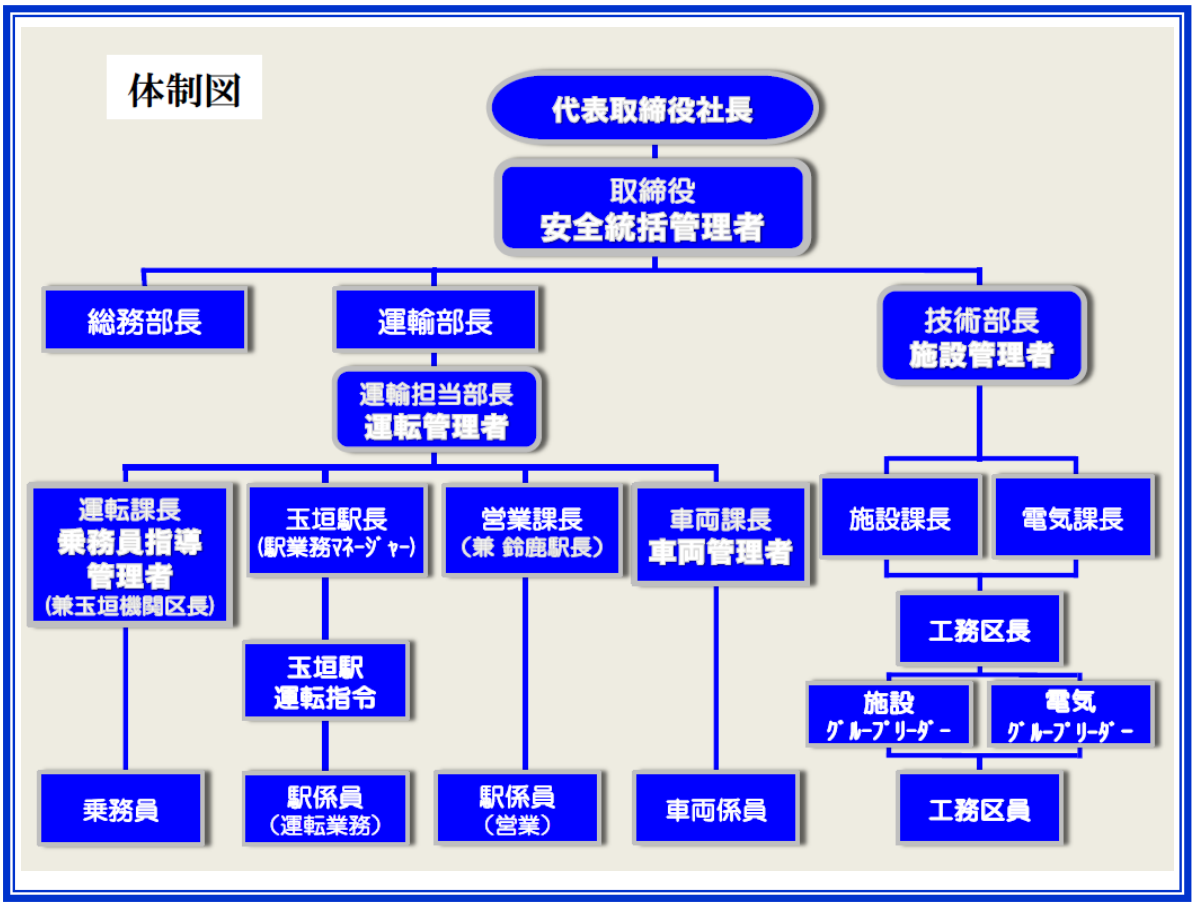
(3)異常時対応訓練

毎年１回、ＪＲ東海と合同で、運転事故や災害等の異常時を想定した訓練を実施しています。

２０１４年度は伊勢鉄道から１０名が参加し、河芸～津駅間で軌道短絡が発生したため、河芸駅からの下り本線出発信号機が現示不能(進行を指示する信号が出ない）となったことを想定。まずは事前にプラレールにて机上訓練を実施した後、夜間に実際の列車を使用して伊勢鉄道指令とＪＲ東海津駅の会社間で指導通信式を施行し、実際に補助制御盤取扱訓練、分岐器鎖錠訓練、代用閉そく方式施行訓練及び会社間にまたがった情報連絡方等の訓練を実施し、異常時対応能力の向上を図りました。

5　当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。　また、毎月一回、安全対策会議を開催し「事故の芽を摘む」意識で、過去事例の検証や、「事故のたね」である「ヒヤっとした・ハッとした」出来事の記録を活用し、現状の問題点の抽出・改善策等を話し合い、安全度の更なる向上に努めています。



役職・役割

役　　職	役　　割
社　　長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
車両管理者	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

6 お客様や地元の皆様との連携とお願い

（1）お客様からのご意見

より安全で信頼される鉄道をつくるため、当社ホームページへのメールや電話等によりお寄せ頂いたご意見を役立てております。 お気軽に下記連絡先までご意見をお寄せ下さい。

（2）沿線にお住まいの皆様へ

安全な列車運行を行うためには鉄道施設の工事が必要です。

極力、ご迷惑をおかけしないよう努めておりますが、工事による騒音や振動でご不便をおかけすることもあるかと思います。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

（3）列車妨害防止のお願い

２０１４年度は、置石や線路内への自転車放置といった列車妨害の発生はありませんでした。

列車妨害の発生件数は年々、減少しつつありますが、高速列車が走行する線路敷地内への立ち入り・いたずらは、列車との触車死亡事故や列車脱線事故にも直結する非常に危険な行為ですので、線路付近で遊んでいる児童等を見かけられましたら、線路内へは決して立ち入らないよう、引き続き注意・指導をお願い致します。

交通安全啓発活動

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

伊勢鉄道株式会社

TEL　059 - 383 - 2112
（FAX も同番号）
E-mail:　anzen@isetetu.co.jp